



素問勉強会 九月

講師：日本鍼灸研究会代表 篠原 孝市 先生

- 日時：令和2年 9月13日 (日)
- 会場：大阪府鍼灸師会館 3階
- 出席者：会員16名 (うちWeb7名) 一般13名 (うちWeb2名) 学生2名 (うちWeb2名)

*九月度も八月度と同様に、当日の講義と併せてウェブ配信も行いました。

・陰陽類論篇第七十九

・第二章を読むにあたっての前提

第二章を読むのに前提となることを話しておきたい。現在、我々は手の寸口(前腕遠位前外側)に六ヶ所の部位を設けて十二経脈をみるという発想に馴染んでいる。しかしこの篇に書かれている内容、あるいは『難経』でもそうであるが、そのようにはなっていない。

この篇で言われている三陰・二陰・一陰・三陽・二陽・一陽という言葉は蔵の気のあらわれを、そのように呼んでいるようである。五蔵の気のあらわれが寸口の部分に出る、どの蔵の気が現れれば、どのような脈状になるのか、若しくはどのような症状になるのかということが書いてあるというふうに、まず考えて欲しい。「蔵の気」が三陰三陽であらわされて、それが手の寸口にやって来ると病気が判断できるというふうになっていたようだ。それを前提にしないとこの後の文章がまるでわからなくなるので、一応それを前提として第二章を読んで行きたい。

第二章

雷公、齋を致すこと七日、且復た侍坐せり。

(訳文)
雷公は、七日間心身を清め物忌みをした後、またまた(黄帝に)付き従って座っていた。

(解説)
且復:大典禅師の『文語解』という本によれば、「且復の二文字は後漢以来の文に多い。復の字はあまり意味が無い」と言う。そこで「且復」の二文字で「また」と読む。室町時代の日本古抄本では「且復」を「またまた」と読んでいる。日本『類経』本も同じである。
しかし最近の色々な注解書では且の字を且の字に変えている本が多い。多紀元簡は「諸本、且を且につくる。まさに従うべし」と言う。
且の字が且の字になった誤りは、後の人たちがこれを鵜呑みにしたことがあるのではないかと。
侍坐:「侍」の字は「侍医」の「侍」と同じで、貴人に付き従うという意味。貴人に付き従ってすわっている、という意味である。

帝曰く、三陽を經と爲し、二陽を維と爲し、一陽を游部と爲す。

(訳文)
帝は言った。三陽(足の太陽の脈)は經、二陽(足の陽明の脈)は維、一陽(足の少陽の脈)は游部である。

(解説)
游部:張介賓の注に従えば少陽というのは体の傍らにあって、二つの陽(足の太陽の脈と足の陽明の脈)の間を出たり入ったりするから游部と呼ぶ。

游は泳ぐという意味がある。あちらこちらに気を巡らすという意味かと思う。

新校正の注は楊上善の著作『太素』の注を引いて、次のようにわかりやすく解釈している。

「楊上善はいう。三陽は足の太陽の脈である。目の内眦(目頭の内側)より頭に上る。別れて四つの道となる。うなじを下り正別脈に並んで、上下六道、もって背を巡り、体に沿って経系のようになっている。二陽は足の陽明の脈である。鼻より起こり、のどに下り分かれて四つの道となる。六本の経脈が流れている。上下して腹に行き体を網維する。一陽は足の少陽の脈である。目の外眦(まなじりの外側)に起こる。頭をまとい分かれて経脈が四つに分かれる。缺盆(大鎖骨上窩)に下り、正別脈をあわせて六道、上下生ず(この文章の意味は不明である)。全身を經營し、気を三部(上焦・中焦・下焦)に流す。ゆえに游部という」

此五蔵の終始を知る。三陽は表たり、二陰は裏たり、一陰、絶するに至りて朔晦を作す。却って具わり合して、以てその理を正す、と。

(訳文)
*三陽を誤まりと考へ、正しいと思われる三陰を入れて訳文を作る。
五蔵の全体というものは次のように知ることが出来る。三陰、つまり太陰は表である。二陰、少陰というものは裏になる。一陰、厥陰は朔(月の満ち欠けの始め)であり晦(月の満ち欠けの終わり)である。(月の満ち欠けの始まりと終わり、1日と29日はくっついている)それは陰の終わりであり陽の始まりでもある。三陰と三陽が一緒になって、その理屈あるいは筋道が正確なものになるのだ。

(解説)
張介賓はこのように注をつける。「陽あらば、すなわち陰あり。表あらば、すなわち裏あり。この三陽の義をみるに、すなわち五蔵の終始、類求して知るべし。三陽(足の太陽の脈)、二陽(足の陽明の脈)、一陽(足の少陽の脈)がわかれば、陰と陽は表裏一体なので、(たとえ

ば足の太陽膀胱経の表裏関係は足の少陰腎経というように)五蔵の全体がわかる」

*私はこの注について、本当かなと思う。なぜならば張介賓はこの篇が書かれた、ずっと後の人である。張介賓の時代、五蔵六府、十二経脈、そして五蔵六府と十二経脈のつながりがあるという論は存在している。その上で注を書くとしたら、このようになるということだと思ふ。しかし、ちょっとつながりが良くないというふうにする。経脈の話をしなから急に五蔵のことがわかると言い切れるのか、あまりわかりやすくはない。この篇を読んで内容がよくわからないと書く注解者もある。その理由は蔵と経脈の関係がはっきり書かれていないからだ。

三陽:この文章の「三陽」という語がここに入るのは疑わしい。文章というのは必ず対例が合わなければならない。ここでは「三陽」を語って「二陰」次に「一陰」を語るということはありえない。張介賓はこの「三陽」は誤りで「三陰」にするべきだと言う。彼は、三陰が諸々の陰の表になるという論を次のように展開している。

張介賓の論

『素問』「陰陽離合論篇第六」の「太陰を開と爲す」という文章、また「痿論篇第四十四」の「肺は身の皮毛をつかさどる」、「靈枢」師傳第二十九の「肺はこれを蓋となし、脾は衛となすをつかさどる」という文章から、三陰つまり太陰というのは皮毛であり、衛であるということがわかる。これは表裏の観念で言えば当然、表の方にかかわるべきである。これは私も正しいと思う。

雷公曰く、業を受けて未だ能く明らかなること能わず、と。

(訳文)
雷公は言う。「業を受けたがまだおっしやるのが、よくわからない」

*篠原孝市先生の新連載『鍼灸病証学』が下記サイトではじまりました。第一回は『「病證」「病証」「病症」の違い』です。
<http://shinkyu-net.jp>
【国民のための鍼灸医療推進機構(ACUPOPJ)】

*「鍼灸net」「ACUPOPJ」で検索可能でした。その中の「鍼灸論考」という欄に連載を見つけました。当会ホームページの「鍼灸net」という所をクリックしても簡単に入れました。



鍼灸論考ページ

『素問』の森を歩いてみませんか。こころざしは毎月休まず第二日曜、午前10時から12時まで大阪府鍼灸師会館3階です。COVID-19感染予防対策の下、勉強会のご案内につきましては本会ホームページをご確認ください。『素問』の森を歩いていたら、自然に『靈枢』の森へ続いていきます。

素問勉強会世話人 東大阪地域 松本政己



Contents

F-1
・素問勉強会

F-2
・令和2年 第3回学術講習会
・吹田「みんなの健康展」のお知らせ
・「みんなの健康展」動画作成に当たって

F-3
・令和2年11月度素問勉強会・学術講習会のご案内
・研修会(講座)案内

F-4
・研修会(講座)案内
・行事予定

令和2年 第3回学術講習会

(令和2年9月13日 会場：大阪府鍼灸師会館3階)

「健康長寿を見据えた口腔機能の変化」

医療法人錦秀会 阪和第一泉北病院 歯科
木全 正彰 先生

新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年度の研修事業も中止を余儀なくされておりましたが、8月より素問勉強会、9月より学術講習会を再開するに至りました。会場での3蜜を避けるために、WEB受講を可能とし、会館での受講かWEBでの受講かを選択して頂けるように致しました。実際にWEB受講者に感想を伺ってみると、「会場に行く手間が省ける」とか「資料が鮮明で見やすい」といったご意見を頂きました。課題も多く見つかりましたが、会員の先生方にもより受講しやすい環境作りに励んでいきたいと存じます。

さて、9月度学術講習会ですが、歯科医師の木全先生をお招きして、鍼灸師が知っておきたい歯科領域の知識を口腔機能の変化とともにご講演して頂きました。

かつては、虫歯や歯周病の治療が主な歯科での治療でしたが、平成・令和と時代が進み、超高齢化社会に入り、現在ではそれに加え、口腔腫瘍（口腔粘膜疾患）や顎の病気（顎関節症）、また今後に向けて、口腔機能低下や口腔機能発達不全のサポートが求められています。

また以下の項目について丁寧に解説して頂きました。

- 1. オーラルフレイル：口腔機能の軽微な低下、可逆的であり、早めにサイン（活舌低下、口の乾燥などを見落とさず、適切な対応をすることでより健康を目指す。

お口の健康度アップのポイント！

- ①歯磨き ②義歯のお手入れ ③お口の体操
- 2. 粘膜疾患（口の腫瘍）
 - ①良性腫瘍：粘膜嚢胞・脂肪種など→粘膜にできる
歯根嚢胞・エナメル上皮腫など→歯の根もしくは骨にできる
 - ②悪性腫瘍：舌がん（多い）、歯肉がん（少ない）、扁平上皮がん（多い）、腺がん（少ない）
 - ③前癌病変（放置しておくとも癌になる可能性のある病変）
→口内炎、口腔扁平苔癬、口腔白板症、口腔がん
- 3. その他の口腔疾患：顎関節症、舌痛症、薬剤関連顎骨壊死（全身疾患

を有して)

- 4. 鍼灸と歯科領域
虫歯・顎関節症、神経痛（三叉神経痛）、腫瘍・外傷など内服による疼痛緩和が困難な場合も多く、鍼灸による疼痛管理を組み合わせることにより、治療自体の効果を高められるのではと期待
- 5. まとめ
歯科治療も時代の流れとともに変遷している。超高齢化社会の中で新たな取り組みも実施しているが、今後は歯科単独ではなく鍼灸師と連携することで、より質の高い治療を目指すことが必要。

今回初めてZOOMを使用したWEB受講を取り入れて開催しましたが、良い面ばかりでなく課題も多

く見つかりました。今後、会員先生方のご意見を反映しながら課題を一つ一つクリアしていき、研修を受

講しやすい環境作りに研修委員会一同励んでいきたいと存じます。

次回は、11月8日(日)に第4回学術講習会を開催します。もちろんWEB受講も可能となっております。

“診察力～明日から使える診察テクニック”をテーマに準備しております。ぜひご参加をお待ちしております。

(研修委員会委員長 荒木善行)



吹田「みんなの健康展」のお知らせ

毎年、吹田地域は、普及活動の一環として公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の主催する『みんなの健康展』に参加してきました。本年度も、10月17日(土)、18日(日)に吹田市文化会館『メイシアター』で開催される「令和2年度 みんなの健康展」に参加を予定していました。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新しい生活様式の中での健康づくりに関する情報をホームページ上で動画などを発信（WEB開催）することになり、それに参加することになりました。

当初は、動画を作成した経験がなく、パワーポイントでスライドを作成して配信する予定でした。しかし、普及啓発委員長の三宅先生にご相談、理事会に諮って頂いた結果、動画の方が良いとのご意見を頂き、理事の先生のご協力を得て動画を作成することとなりました。

動画作成に当たっては、青年委員会の清藤先生のご紹介で、京都在住の西まりあ先生、植田尚吾先生に作成のご協力を頂くことになりました。なかなか直接お会いする訳にもいかず、LINEやWEB会議を利用して意見交換を行っての作業でしたが、いいものができたと思います。

令和2年11月2日(月)～令和3年3月31日(水)の期間、吹田市健康づくり推進事業団のホームページ上で配信されます。是非ご覧ください。

最後になりますが、動画作成にご協力いただいた先生方、本当にありがとうございました。

大阪府鍼灸師会吹田地域
代表 池永亮一

「みんなの健康展」動画作成に当たって

「笑顔溢れる人生に寄り添う鍼灸」

私たちは学生時代にmoxafricaの理事である伊田屋ユキ先生とUliに出会いました。2人の思いやりのある、心も身体も温まるお灸治療の魅力に、会った一瞬で取り憑かれました。

お灸の良さを世界中に発信したい！そんな気持ちから鍼灸について知ってもらおうと、Instagramでの活動を始めたことをキッカケにイベント動画の依頼をいただき制作させていただきました。

【鍼灸を知らない人にもどれだけ素晴らしい医療なのかを伝える】
【鍼灸で楽しく健康になって笑顔にする】
【夢いっぱいの子供たちが心身共に健康で希望を持って生きていける環境を作る】

私たちは鍼灸でこの3つのスローガンを世界中にshareしていく為に活動しています。

最近では鍼灸ブームにより鍼灸治療を受ける人は増えてきました。しかし、鍼は痛くて、お灸は熱いという概念はまだまだ完全に取り除くことは難しいように感じます。

そこで、鍼灸が大好きな気持ちとたくさんの願いをギュッと詰め込んだこの動画を見てくださった方々が、手軽で心地よいセルフケアが出来るんだ！と、鍼灸をもっと身近に感じる事ができればと思います。

そして、患者さんを取り合うのではなく、患者さんの身体に合う治療を得意とする先生と連携し合いながら、鍼灸で患者さんの人生をより豊かにしていくお手伝いを先生方としていけることを願います。

今回、イベントの動画制作にあたってとても良い経験をさせて頂いた先生に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

大阪府鍼灸師会 準会員 西まりあ
大阪府鍼灸師会 準会員 植田尚吾

令和2年11月度素問勉強会・学術講習会のご案内

11月度研修事業のお知らせです。今回も事前申込制で会館受講とWEB受講を選択できるハイブリッド形式となっております。下記の要綱をご覧ください。会員の先生方におかれまして、万障繰り合わせの上、ご参加お待ちしております。詳細は、研修会案内をご参照下さい。

【日時】 令和2年11月8日(日) 10:00～12:00 素問勉強会
13:30～16:45 学術講習会

【演題】

・素問勉強会「方盛衰論篇第八十注」

講師：篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表

・学術講習会

① 「総合診療医が教える鍼灸師に必要な診察テクニック」

講師：寺澤 佳洋 先生 医療法人弘池会 口之津病院

② 「災害時における鍼灸治療の意義と診察力」

講師：今井賢治 先生 帝京平成大学

【受講料】1日通して

会 員：1,000円 (日鍼会・大鍼師会・柔整師会・全日本鍼灸学会含む)

会員外：2,000円

学 生：無料

※会費種別は自己申告制です。運営から種別の確認があった場合、速やかに確認できる様にご準備下さい

【参加申し込み方法】先着順(会館参加 20名 WEB参加 100名)

・会館受講希望

フレッシュ申込用紙のFAX・QRコード(Googleフォーム)・当会ホームページから事前参加申し込みを行ってください。

(受講料は、当日にお支払いください)

・WEB受講希望

QRコード(Googleフォーム)・当会ホームページから参加申し込み後、受講料をお振り込みにてお支払い下さい。

※お申込み・お振込み締切：11月6日(金)

【振込口座】受講料は、下記の口座へ、お振り込みにてお願いいたします。

ゆうちょ銀行 00950-3-145677

口座名義：公益社団法人 大阪府鍼灸師会

(↓他金融機関からの振込用口座番号)

〇九九(ゼロキュウキュウ)店(099) 当座 0145677

口座名義：公益社団法人 大阪府鍼灸師会

※手数料は参加者負担となります。ご了承ください。

※申し込みは、グーグルフォームによる参加申し込みと、入金の確認(WEB受講)で完了となります。

WEB参加の方は、参加申し込みと受講料お支払い後、運営からメールにて当日の「ZOOMミーティングURL」と「講義資料」、「Webセミナー利

用手引き書」をお送りいたします。手続きに多少のお時間を頂きますので早めのご入金にご協力ください。

資料につきましては必要に応じて各自印刷を事前に行っていただくようお願いいたします。

【取得単位】(公社)大阪府鍼灸師会生涯研修(2単位)

(公財)東洋療法研修試験財団生涯研修講座(2単位)

※受講時ビデオon・受講後の出席確認アンケートをもって単位認定いたします。

※GKカードはセミナー終了後に当会にて登録作業を行います。

※単位認定は講習前後15分以上の遅刻・退室により付与致しかねます。

また受講状況により付与できない場合がございますのでご了承ください

【会場】大阪府鍼灸師会館3F(使用ツールZOOMミーティング)

《webセミナー受講上の諸注意》

※慣れないWebセミナーとなります。不手際等によりご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんがご了承のうえご参加いただきますようお願いいたします。

※撮影ならびに録画・録音はお断りいたします。

※当日使用するZOOMミーティングのソフトウェアをご自身が使用するデバイス(PC・タブレット・スマートフォン)に事前インストールをお願いいたします。

また、インストール済みの方は最新版への更新を済ませてください。

※当日は参加者確認に時間を要するため、準備が出来た方は早めに受付を行って頂きますようご協力をお願いいたします。30分前から入室ができるよう準備いたします。

※質問は最後にお受けいたします。主催者の指示に従って頂きますようお願い申し上げます。

※講習時はビデオon、マイクoff(ミュート)にご協力ください。

※WEBセミナー会場へのセキュリティ強化と入室をスムーズに行うため、申し込み時の名前(ID)とWEBセミナー入室時のID、および料金振り込み時の氏名を統一して本名にてご登録いただきますようお願いいたします。

※詳細は(公社)大阪府鍼灸師会のホームページにて「Webセミナー利用手引き」をご覧ください

※ご不明な点やお問い合わせは『大阪府鍼灸師会』まで

連絡先：TEL 06-6351-4803 FAX 06-6351-4855

E-MAIL：study@osaka-hari9.jp

(研修委員会 荒木)

午前午後共通申し込みフォームはこちら→



研修会(講座)案内

日 時	令和2年11月8日(日) 10:00～12:00	
場 所	大阪府鍼灸師会館 3階 または WEB 配信(ZOOM ミーティング)	
研修会名	令和2年 11 月度素問勉強会	
内容・講師名	<p>「素問」 方盛衰論篇第八十注</p> <p style="text-align: right;">日本鍼灸研究会代表 篠原 孝市 先生</p> <p>◆会館での参加は先着20名、WEB配信は先着100名とさせていただきます。詳細につきましては、大鍼会ホームページをご参照して頂きますようお願い申し上げます。 東洋療法研修試験財団および大阪府鍼灸師会の研修単位(各2単位)が取得できます。GKカードを持参して下さい。 必ずマスク着用の上、ご参加下さいますようお願い致します。</p>	
午前・午後通しの聴講料	本会会員 ¥1,000 会員外 ¥2,000 学 生 無料	
午前午後共通申込	申し込みフォーム https://forms.gle/53kT5HeNYkk6ad5G7 QRコード・大鍼会ホームページからのリンクで行けます→ または FAX	
備 考	GKカード持参	
主 催	(公社)大阪府鍼灸師会	



日時	令和2年11月8日(日)(受付13:00~) ①13:30~15:00 ②15:15~16:45
場所	WEBによる開催
研修会名	令和2年度第4回(11月度)学術講習会 ハイブリッド開催(会館受講+WEB受講)
内容 講師名	①「総合診療医が教える鍼灸師に必要な診察テクニック」 医療法人 弘池会 口之津病院 講師 寺澤 佳洋 先生 ◆私は明治鍼灸大学(現 明治国際医療大学)を2004年卒業(18期)した後に医師となり、早10年以上が経ちました。そのなかで、救急医療や総合診療・家庭医療と呼ばれる分野を中心に学んできました。鍼灸師の方々と医師向けのワークショップも開催しました。最近では、COVID-19の感染対策対応も行いました。今回の講習会では、私の経験も踏まえて、患者さんのハートを掴む診察テクニック、レッドフラッグを見逃さない診察プロセスや総合診療医が重視する考え方などを共有したいと考えています。これらのお話が皆様の今後の診療に少しでも役に立つ事になれば大変嬉しく思います。よろしくお願ひ致します。 ②「災害時における鍼灸治療の意義と診察力」 帝京平成大学 ヒューマンケア学部 鍼灸学科 教授 講師 今井 賢治 先生 ◆近年、自然災害が多発し、避難生活によるストレスフルな状況から、慢性疼痛や不眠、精神症状などを発症する方が多く、鍼灸・マッサージが災害支援の中で大きく貢献してきました。一方、コロナ禍においては、避難所における感染防止が重要であり、支援活動の在り方が課題となっています。今回は、災害時における鍼灸マッサージの意義を示すとともに重要となる診察力、そして感染防止の視点から支援活動の在り方を考察します。
備考	・GKカード持参 ・事前申込みの上、定員は会館受講を先着20名、WEB受講を先着100名とさせていただきます。お申込み方法は、下記のQRコード・大鍼会ホームページまたはFAXにてお申込み下さい。

◆講習会に関する問い合わせ先 ■TEL:06-6351-4803
■(公社)大阪府鍼灸師会 (土・日・祝休み)
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町6-6

令和2年度(2020年度)第4回(11月度)学術講習会 11月8日(日)
ハイブリッド開催(会館受講+WEB受講)

午前の部 「素問勉強会」
午前 10:00~12:00
講師 日本鍼灸研究会代表 篠原 孝市先生 [会場] 大阪府鍼灸師会館 3階 またはWEB配信(ZOOM)

テーマ1 午後の部 午後1:30~3:00
「総合診療医が教える 鍼灸師に必要な診察テクニック」
講師 寺澤 佳洋 先生
医療法人 弘池会 口之津病院
[会場] 大阪府鍼灸師会館 3階 またはWEB配信(ZOOM)

テーマ2 午後の部 午後3:15~4:45
「災害時における 鍼灸治療の意義と診察力」
講師 今井 賢治 先生
帝京平成大学 ヒューマンケア学部 鍼灸学科 教授

一日の聴講料
午前・午後を揃えて

- 大阪府鍼灸師会会員 1,000円
- 会員外一般 2,000円
- 学生 無料(WEB参加限定)

■参加申込要:
(先着順 会館受講20名、WEB受講100名)
■申込方法:
下記QRコードもしくは大鍼会ホームページ
■申込期限: 令和2年11月6日(金)

★東洋療法研修試験財団 および大阪府鍼灸師会の研修単位各2単位(1日に計6単位)が取得できます。
★必ず、(公社)日本鍼灸師会GK(学術研修)カードをご持参ください。(カードの無い方も受講できます)

会場 またはWEB配信(ZOOM)
(午前・午後の部共)
大阪府鍼灸師会館3階
〒530-0037
大阪市北区松ヶ枝町6-6
(阪寄り駅) 大阪メトロ
堺筋線・谷町線「南森町駅」
から徒歩6分
JR東西線「大阪天満宮」
から徒歩3分

お問合せ 公益社団法人 大阪府鍼灸師会
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町6-6
TEL. 06-6351-4803 (土日祝休)
http://osaka-hari9.jp

公益社団法人 大阪府鍼灸師会主要行事予定表
(10月10日現在)

令和2年11月		
日時	主要行事	場所
1日(日) 9:00~	第16回大阪聴力障害者協会ゲートボール大会	貝塚市立スポーツ施設青少年運動場
8日(日) 10:00~	素問勉強会	会館3階+WEB配信
8日(日) 10:00~	生保審査会・相談会	会館2階
8日(日) 10:00~	生保労災新規取扱講習会	会館4階
8日(日) 13:30~	第4回学術講習会	会館3階+WEB配信
12日(木) 19:30~	第4回 正副会長会議	会館2階
15日(日) 10:00~	第5回 理事会	会館4階
15:00~	第2回 地域代表者連絡会	会館3階
令和2年12月		
日時	主要行事	場所
7日(月) 15:00~	生保審査会・相談会	会館2階
7日(月)	会費自動引き落とし日	
10日(木) 19:30~	第5回 正副会長委員長合同委員会	会館4階
13日(日) 10:00~	素問勉強会	会館3階+WEB配信
13日(日) 13:30~	第5回学術講習会	会館3階+WEB配信
28日(月)	事務局仕事納め	
令和3年1月		
日時	主要行事	場所
4日(月)	新年互礼会(中止)	
5日(火)	事務局仕事始め	
7日(木) 15:00~	生保審査会・相談会	会館2階
10日(日) 10:00~	素問勉強会	会館3階+WEB配信
14日(木) 19:30~	第5回 正副会長会議	会館2階
17日(日) 14:00~	第6回 理事会	会館4階